

公表) 児童発達支援 における自己評価結果

| 事業所名     |    | 児童発達支援センター くるーる   |    |     |  | 公表日  | 令和8年3月20日 |
|----------|----|---|----|-----|--|--|-----------|
|          |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点  |           |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。  | 13 | 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●エリアを分けたりしている点が工夫していると思います</li> <li>●マックスの人数が全員そろって部屋の中がいっぱいで過ぎせなくなるため、エリアを分けて過ごすように心がけています</li> <li>●エリアを分けている</li> <li>●エリアを分ける等の工夫は行われている</li> </ul> | ●全員がクラス内で集まると十分にスペースが足りない。   |           |
|          | 2  | 利用定員やお子様の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。   | 14 | 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日によって、1対1で対応が必要になるお子さんも数名そろえることあるため、けがへの配慮、支援が適切に行えるようにヘルプをお願いします。</li> <li>●定員に対しては人数が確保されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●職員が休みに急になったときや、お子さんが多い時にはヘルプに入ってくださいているが、それ以外の時にももう一人いてほしい。</li> <li>●曜日によっては、すみれのスタッフだけでは足りない日もあるように思います</li> <li>●実際に利用されているお子さんの状態にはあてない日があると思う。</li> </ul> |           |
|          | 3  | 生活空間は、お子様にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。   | 17 | 0   |  |  |           |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、お子様達の活動に合わせた空間となっているか。   | 18 | 0   | ●毎日そうじ、消毒等を行ってくださっている。目についたゴミは拾うようにしている。   |  |           |
|          | 5  | 必要に応じて、お子様が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  | 18 | 0   | ●お子さんによって、個別の部屋を使用して静かな環境で課題を行うことがある。  | ●部屋はあるが、実際に使うためには室内の環境設定、職員配置などが必要でうまく活用するに至っていない。   |           |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。   | 17 | 1   | ●毎日、クラス内でその日の振り返りを行っている。   |  |           |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 17 | 0   |  |  |           |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 18 | 0   |  |  |           |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  | 16 | 0   |  |  |           |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。   | 18 | 0   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭の都合で参加が難しいので、動画に残してくださっているのはありがたい。続けてほしい。</li> <li>●今年は動画で見れるようになったので、全員が見ることができるようになったのがよい。</li> </ul>  | ●業務中、業務後は参加が難しい職員が現状多い。  |           |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。   | 17 | 0   |  |  |           |
|          | 12 | 個々のお子様に対してアセスメントを適切に行い、お子様と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。  | 17 | 0   |  |  |           |
|          | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員が共通理解の下で、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | 17 | 1   |  |  |           |
|          | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。   | 17 | 1   |  |  |           |
|          | 15 | お子様の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。   | 16 | 1   |  |  |           |
|          | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援が「プログラム」児童発達支援の提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、お子様の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 17 | 0   |  |  |           |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。  | 17 | 0   |  |  |           |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。  | 17 | 0   |  |  |           |
|          | 19 | お子様の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。   | 17 | 0   |  |  |           |

|   | チェック項目  | はい | いいえ   | 工夫している点  | 課題や改善すべき点                               |
|---|---|----|---|--|---|
|   | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 18 | 0   |  |   |
|   | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。   | 17 | 1   |  |   |
|   | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 17 | 0   |  |   |
|   | 23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。  | 16 | 0   |  |   |
| 関係機関や保護者との連携  | 24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか。   | 16 | 0   |  |   |
|   | 25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。   | 16 | 0   | ●必要に応じて、小児科等の医師の意見を伺うことがある。  |   |
|   | 26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定お子様園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 16 | 0   |  |   |
|   | 27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。   | 16 | 0   | ●就園、就学前に移行支援会議を行っている。  |   |
|   | 28 (28～30は、センターのみ回答)  | 16 | 0   |  |   |
|   | 地域の子どもの発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。  | 0  | 0   |  |   |
|   | 29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。   | 16 | 0   | ●定期的に言語の先生、リハビリの先生の視点で話をうかがえる機会はとてありがたい。<br>●PT、STのアドバイザーに来ていただくことにより、支援に活かしている。 |   |
|   | 30 (自立支援)協議会お子様部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。  | 16 | 0   | ●児童部会に参加している。  |   |
|   | 31 (31は、事業所のみ回答)  | 0  | 0   |  |   |
|   | 地域の子どもの発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。   | 0  | 0   |  |   |
| 32 保育所や認定お子様園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のお子様と活動する機会があるか。                                  | 12  | 4  | ●現在は交流はしていない。入園、入学に向けて地域のお子様たちと関わる機会を作っていたことはあるので、個別に対応していくことは可能。 |  |   |
| 33 日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                             | 18  | 0  |   |  |   |
| 34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 18  | 0  |   |  |   |
| 保護者への説明等  | 35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 17 | 0   |  |   |
|   | 36 児童発達支援計画を作成する際には、お子様や保護者の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点から、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか。                                | 17 | 0   |  |   |
|   | 37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。   | 17 | 0   |  |   |
|   | 38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。   | 18 | 0   |  |   |
|   | 39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。                 | 16 | 1   |  | ●父母の会の活動支援などはあっても、きょうだい同士で交流する機会はないと思う。 |
|   | 40 お子様や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、お子様や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                               | 17 | 0   |  |   |

|         | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点 |
|---------|--|----|-----|---|-----------|
|         | 41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者に対して発信しているか。        | 18 | 0   |   |           |
|         | 42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。   | 18 | 0   |   |           |
|         | 43 障害のあるお子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。   | 18 | 0   | ●見て分かりやすいよう紙面を通してやりとりしたり、外国籍の方の場合は翻訳機を利用するなどしている。 |           |
|         | 44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。   | 18 | 0   |   |           |
| 非常時等の対応 | 45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 18 | 0   |   |           |
|         | 46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                       | 18 | 0   |   |           |
|         | 47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のお子様の状況を確認しているか。   | 18 | 0   |   |           |
|         | 48 食物アレルギーのあるお子様について、医師の指示書に基づく対応がされているか。  | 18 | 0   | ●お子さんのアレルギーの結果表をもとにスタッフ間で声をかけながら対応している            |           |
|         | 49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | 17 | 0   |   |           |
|         | 50 お子様の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                       | 16 | 0   |   |           |
|         | 51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。   | 17 | 0   |   |           |
|         | 52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。  | 17 | 0   |   |           |
|         | 53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。    | 17 | 0   |   |           |

| 自事業所の強みと感じるところ   | 自事業所の弱みと感じるところ   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の方々とのつながりがたくさんある。(園や施設等)</li> <li>●園での活動をイメージし、小集団活動を取り入れエナジ。児童の好きなこと、興味のあることを用いながら日々療育を行っている。</li> <li>●お子さんひとりひとりの特性に合わせて支援を行っているところ</li> <li>●スタッフがみんなお子さんと遊ぶのが上手で楽しそうにしているところ。定期的な研修を行い、専門的に支援を行うことを意識しているところなど</li> <li>●発達段階でクラスをわけを行っている</li> <li>●支援について悩んだ時に相談しやすい。また「これやってみよう」と解決策をみんなで考え取り組めるところ</li> <li>●いろいろな(専門的)スタッフの目線などいろいろな角度から支援しているところ</li> <li>●各事業所とすぐに情報共有できるところ</li> <li>●利用を希望している方がいること。個々の事業所があり受け皿が広がっている。</li> <li>●自閉症以外の障害を持たれている方への支援について様々な専門性を持ったスタッフが対応できているところ。</li> <li>●各職員が担当クラスのお子さんのことをよく理解できていると感じる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●クラス以外のスタッフと話をしたり計画を立てたりする時間と人手が足りない</li> <li>●活動内容が同じになることが多い(土曜日)</li> <li>●スタッフ間でのコミュニケーションがより密にとれるといいなと思います</li> <li>●クラス分けをしえちること、クラス間で行動していることが多くなりやすい</li> <li>●車内での不満を聞いたとき。</li> <li>●年度末は利用のご希望に添えないケース(利用日数など)があった。</li> </ul> |
| 工夫しているところ  | 弱み・課題と感じている点の原因  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者と話をする機会を作っている(会議や療育説明等)</li> <li>●普段の療育に加えて、外食体験など外出療育も行っているところ</li> <li>●ひとりひとり違う特性のあるお子さんをアセスメントや観察して支援を考える</li> <li>●スケジュールやエリアについては、定期的に見直しているところ</li> <li>●おこさんがやりたいと思うことはできるだけできるようにしている</li> <li>●毎日会議できない分、月に1回の会議を大切に話し合ったことをすぐ、どうしていくべきか振り返る時間とちゃんと取ってくれている。</li> <li>●室内を構造化し、ご利用者が過ごしやすい学びやすい環境をつくっている。</li> <li>●クラス内、クラス間で連携を取りながら一か所にお子さんが集まりすぎないようにしたり、保護者のニーズに添えるよう面談や個別対応の時間をとるようにしている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●現場スタッフが会議に行けない</li> <li>●スタッフ配置人数</li> <li>●クラスで取り組んでいることが、評価につながらなかった時、評価の視点が違うと感じてしまうのだろうか？</li> <li>●現状では職員不足もあり、利用日数を増やしたいお子さんや個別での関りがもっと必要なお子さんに十分に対応できているか心配。</li> </ul>   |
| 更に充実させるために必要なこと  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●書類を進める時間が欲しい</li> <li>●今までなかったことがない新しい活動の検討</li> <li>●利用者も大切な気持ちに変わりはないが、会社が働いている職員をどう思うか？で会社(チーム)を思う気持ちは変わって来るとおもいます。職員が充実することで更に利用者へハッピーや充実が伝わるような気がします。いつも気にかけて下さりありがとうございます。</li> </ul>  |  |

## 公表) 児童発達支援センターにおける自己評価総括表

|                |                |    |        |            |
|----------------|----------------|----|--------|------------|
| ○事業所名          | 児童発達支援センターくるーる |    |        |            |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年10月1日      |    | ～      | 令和7年12月20日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)         | 58 | (回答者数) | 47         |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年12月29日     |    | ～      | 令和8年2月26日  |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)         | 19 | (回答者数) | 19         |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月1日       |    |        |            |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                         | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|---|--|
| 1 | 個々の特性や成長に合わせた支援を提供することができている。              | 個々の特性を十分に理解するために日々アセスメントをとり支援につなげることを大切にしている。 | 障害特性を十分に理解し、彼らの強みを活かしながら支援につなげることができるようチームで検討していく。           |
| 2 | さまざまな専門職を配置していること、専門職からのアドバイスをもらう機会がある。    | 言語聴覚士や理学療法士、自閉症の専門家から指導をもらえる機会を作っている。         | 個々の利用者の課題に合わせて支援方法を検討することができるように、今後も外部からの指導を積極的に受ける機会を作っていく。 |
| 3 | 地域との交流の機会がある。                              | 行事で地域の公園へ出たり、外出したりすることで交流できる機会を作っている。         | 地域の方と今後も積極的に関わりを持つことができる活動を企画している。                           |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること           | 事業所として考えている課題の要因等                          | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 配置人数は基準に達しているが、より丁寧な支援を行う上で更にスタッフの配置、スキルを充実させる必要がある。 | スタッフのスキルアップのために個々に合わせた研修を行うことが十分にできていない。   | 個々のスタッフに合わせた研修プログラムの実施を検討する。  |
| 2 | 書類作成やタスク作成の時間の確保が十分にできていない。                          | 優先的に取り組む業務が明確になっていない。<br>書類作成に長く時間がかかっている。 | 必要な書類を整理し、必要最低限とすることで、直接支援にかかる業務を優先的に取り組むことができるようにする。<br>パソコンの入力技術を獲得し、入力にかかる時間を減らすことができるようにする。 |
| 3 |  |  |   |

## 公表)放課後等デイサービスにおける自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターくるーる

公表日 令和8年3月20日

|          |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|----|--|----|-----|---------|-----------|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 10 | 1   |         |           |
|          | 2  | 利用定員やお子様の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 10 | 1   |         |           |
|          | 3  | 生活空間は、お子様にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 11 | 0   |         |           |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、お子様達の活動に合わせた空間となっているか。  | 11 | 0   |         |           |
|          | 5  | 必要に応じて、お子様が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 11 | 0   |         |           |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。   | 11 | 0   |         |           |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 11 | 0   |         |           |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 11 | 0   |         |           |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 11 | 0   |         |           |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 11 | 0   |         |           |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 11 | 0   |         |           |
|          | 12 | 個々のお子様に対してアセスメントを適切に行い、お子様と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 11 | 0   |         |           |
|          | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員が共通理解の下で、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 11 | 0   |         |           |
|          | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 11 | 0   |         |           |
|          | 15 | お子様の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 11 | 0   |         |           |
|          | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、お子様の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 11 | 0   |         |           |

|              | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点      | 課題や改善すべき点 |
|--------------|---|----|-----|--------------|-----------|
|              | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 11 | 0   |              |           |
|              | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 10 | 0   |              |           |
|              | 19 お子様の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                    | 10 | 0   |              |           |
|              | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。              | 10 | 0   |              |           |
|              | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                       | 10 | 0   |              |           |
|              | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                       | 10 | 0   |              |           |
|              | 23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                        | 10 | 0   |              |           |
|              | 24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。                                | 10 | 0   |              |           |
|              | 25 お子様が必要とされるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                          | 10 | 0   |              |           |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか。                     | 10 | 0   |              |           |
|              | 27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                   | 10 | 0   |              |           |
|              | 28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、お子様の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。      | 10 | 0   |              |           |
|              | 29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定おこころの園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                   | 10 | 0   |              |           |
|              | 30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。             | 10 | 0   |              |           |
|              | 31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                      | 10 | 0   |              |           |
|              | 32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のお子様と活動する機会があるか。                                       | 8  | 2   | ●私は参加できていません |           |
|              | 33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 9  | 1   |              |           |
|              | 34 日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                             | 10 | 0   |              |           |
|              | 35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 10 | 0   |              |           |

|          | チェック項目 | はい   | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |  |
|----------|--------|--|-----|---------|-----------|--|
| 保護者への説明等 | 36     | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 10  | 0       |           |  |
|          | 37     | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、お子様や保護者の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 10  | 0       |           |  |
|          | 38     | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 10  | 0       |           |  |
|          | 39     | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 10  | 0       |           |  |
|          | 40     | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 10  | 0       |           |  |
|          | 41     | お子様や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、お子様や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 10  | 0       |           |  |
|          | 42     | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者に対して発信しているか。                   | 10  | 0       |           |  |
|          | 43     | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 10  | 0       |           |  |
|          | 44     | 障害のあるお子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 10  | 0       |           |  |
|          | 45     | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 10  | 0       |           |  |
| 非常時等の対応  | 46     | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 10  | 0       |           |  |
|          | 47     | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 10  | 0       |           |  |
|          | 48     | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のお子様の状況を確認しているか。  | 10  | 0       |           |  |
|          | 49     | 食物アレルギーのあるお子様について、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 10  | 0       |           |  |
|          | 50     | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 10  | 0       |           |  |
|          | 51     | お子様の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 10  | 0       |           |  |
|          | 52     | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 10  | 0       |           |  |
|          | 53     | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 10  | 0       |           |  |
|          | 54     | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 10  | 0       |           |  |

| チェック項目  | はい | いいえ   | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|----|---|---------|-----------|
| 自事業所の強みと感じるところ  |    | 自事業所の弱みと感じるところ  |         |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 見発だけでなく、放デイも行っているところ</li> <li>● お子さんに合わせた支援が提供できているところ</li> <li>● 支援について悩んだ時に相談しやすく、みんなで支援方法について考え取り組めるところ</li> <li>● 楽しく来れるような活動をお子さんと一緒に考えておこなっているところ</li> <li>● 児童の好きなこと、興味のあることを用いながら日々療育を行っている。</li> <li>● 見発から放デイへの移行ができるので、環境の変化が苦手なお子さんでもスムーズに移行ができる。</li> </ul> |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 放デイを行っているみずたまとの話をする時間があまりない</li> <li>● みんなで共有しているが同じ支援方法でできないことがある。利用児がくずれ切り替えれない時に支援方法を変更してしまうため</li> </ul> |         |           |
| 工夫しているところ   |    | 弱み・課題と感じている点の原因   |         |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 未就学児向けの遊びだけでなく、小学生向けの遊びなどをたくさん準備している</li> <li>● 部屋を個別に分けたりするなど</li> <li>● スケジュールやエリアについては定期的に見直しているところ</li> <li>● お子さんが楽しく来れるように楽しい活動を取り入れているところ</li> <li>● 普段の療育に加えて、外周たいけんなど外出療育を行っているところ</li> </ul>   |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 週に1回だけなのでうまく対応できないことがある</li> </ul>   |         |           |
| 更に充実させるために必要なこと   |    |   |         |           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 放デイの取り組みを知りたい。みずたまとの連携をしたい</li> </ul>  |    |   |         |           |

## 公表)放課後等デイサービスにおける自己評価総括表

|                |                 |    |              |
|----------------|-----------------|----|--------------|
| ○事業所名          | 児童発達支援センター くるーる |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年10月1日       |    | ～ 令和7年12月20日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)          | 6  | (回答者数) 4     |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年12月29日      |    | ～ 令和8年2月26日  |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)          | 10 | (回答者数) 10    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月1日        |    |              |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること       | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                      | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 児童発達支援と放課後等デイサービスを多機能でおこなっていることで、就学後へスムーズに移行ができる | 小学校へ移行するときにお子様、ご家族ともに不安が軽減できるように関係機関と情報共有し必要な支援について確認している。 | 小学校の合併などで学校の環境の変化も考えられる。継続して、学校やご家族と情報共有させていただくにも、お子様ご本人のニーズを十分に把握していく。 |
| 2 | 子どもの興味を十分に活かしながら意欲的に取り組める活動を設定している。              | お子様一人ひとりの得意、好きを大切にしながら支援を提供している。                           | 苦手な活動であっても、お子様の得意なことと組み合わせながらチャレンジできる機会を提供できるように支援を提供していく。              |
| 3 |  |  |   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|----------------------------------|---|
| 1 | 週に1日の利用(土曜)であるため、継続的な支援が十分にできないことがある。      | くるーるでは、営業時間の関係もあり土曜日の利用に限定されている。 | 週に複数回利用が必要と思われるお子様については他事業所の紹介も含めて検討し、必要な支援を利用することができるように情報提供していく。<br>平日の日にサービスを利用できることから、不登校状態にある方に対する平日の利用について、小学校やご家庭と連携し必要に応じサービスが利用できるように調整する。 |
| 2 |  |                                  |   |
| 3 |  |                                  |   |

公表) 保育所等訪問 における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センター くるーる

令和8年3月20日

公表日

|          |    | チェック項目  |    |     | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など                      | 課題や改善すべき点                                       |
|----------|----|---|----|-----|--|---|
|          |    |   | はい | いいえ |  |   |
| 環境・運営・体制 | 1  | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。  | 8  | 0   |  |   |
|          | 2  | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 8  | 0   |  |   |
| 業務改善     | 3  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                      | 8  | 0   |  |   |
|          | 4  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                | 8  | 0   |  |   |
|          | 5  | 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 8  | 0   |  |   |
|          | 6  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  | 8  | 0   |  |   |
|          | 7  | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                   | 8  | 0   |  |   |
| 適切な支援の提供 | 8  | 個々のお子様に対してアセスメントを適切に行い、お子様と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。                | 8  | 0   |  |   |
|          | 9  | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員が共通理解の下で、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | 8  | 0   |  |   |
|          | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。                            | 8  | 0   |  |   |
|          | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。   | 8  | 0   |  |   |
|          | 12 | お子様の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8  | 0   |  |   |
|          | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。              | 8  | 0   |  |   |
|          | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。   | 8  | 0   |  |   |
|          | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                     | 8  | 0   |  |   |
|          | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                              | 8  | 0   |  |   |
|          | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。   | 8  | 0   | ●先生方のお話を聞いて、負担のないようお子さんにとって必要な支援を共有できるよう掛けている。 | ●訪問先の負担がないようにはしたいが、情報共有の仕方などうまくみ合っていないことはあると思う。 |

|              |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと<br>思われる点など | 課題や改善すべき点                                |
|--------------|----|--|----|-----|-------------------------------|--|
|              | 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。   | 8  | 0   |                               |  |
|              | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                          | 8  | 0   |                               |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか。                                   | 8  | 0   |                               |  |
|              | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                 | 8  | 0   |                               |  |
|              | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                     | 8  | 0   |                               |  |
|              | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。  | 8  | 0   |                               |  |
|              | 24 | (自立支援)協議会子お子様部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。   | 7  | 1   |                               | ●私は参加できていません                             |
|              | 25 | 日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達状況や課題について共通理解を持っているか。  | 8  | 0   |                               |  |
|              | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 8  | 0   |                               |  |
| 保護者等への説明等    | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 8  | 0   |                               |  |
|              | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。   | 8  | 0   |                               | ●訪問の目的について説明を行うようにしているが、うまく伝わっていないこともある。 |
|              | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、お子様や保護者の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか。           | 8  | 0   |                               |  |
|              | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。                                     | 8  | 0   |                               |  |
|              | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。  | 8  | 0   |                               |  |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 8  | 0   |                               |  |
|              | 33 | お子様や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、お子様や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 8  | 0   |                               |  |
|              | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をお子様や保護者に対して発信しているか。                        | 8  | 0   |                               |  |
|              | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 8  | 0   |                               |  |
|              | 36 | 障害のあるお子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 8  | 0   |                               |  |

|            | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと<br>思われる点など | 課題や改善すべき点                                      |
|------------|--|----|-----|-------------------------------|--|
| 訪問先施設への説明等 | 37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。                                  | 8  | 0   |                               |  |
|            | 38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。   | 8  | 0   |                               | ●訪問先や時間によっては話をする時間をとっていただきにくい場合があるので、検討が必要である。 |
|            | 39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。   | 8  | 0   |                               |  |
|            | 40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。   | 8  | 0   |                               |  |
|            | 41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。                                      | 8  | 0   |                               |  |
| 非常時等の対応    | 42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8  | 0   |                               |  |
|            | 43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | 8  | 0   |                               |  |
|            | 44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。   | 8  | 0   |                               |  |
|            | 45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。  | 8  | 0   |                               |  |
|            | 46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。    | 8  | 0   |                               |  |

| 自事業所の強みと感じるどころ   | 自事業所の弱みと感じるどころ  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●送迎などもあり園との交流がたくさんある</li> <li>●午後利用のお子さんで、午前中に訪問に行くことで、その日の振り返りをすぐに行えるところ</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎回同じスタッフが訪問に行ってしまうことがある</li> </ul>              |
| 工夫しているところ  | 弱み・課題と感じている点の原因   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●園の先生と話をできる機会をつくっている(会議や訪問)</li> <li>●園での様子、療育での様子を共有し、必要な支援を行えるようにしている。園での困りごとを療育の中で取り入れるようにしている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者の考えや思いと保育者の考えや思いの違いが難しく療育を取り入れにくい</li> </ul> |
| 更に充実させるために必要なこと  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者と保育者としっかり話をする(思いや考え、取り組み等)</li> <li>●日ごろからお互いに情報を共有したり、ささいな変化なども話し合える関係づくりをしていきたい。</li> <li>●園と事業所お互いにとってメリットのあるものになるように、目的の共有や情報交換の仕方などが相談できるとよい。また気軽に情報共有できる関係性ができればと思う。</li> </ul> |   |

## 公表) 保育所等訪問支援 における自己評価総括表

|                |                 |   |              |
|----------------|-----------------|---|--------------|
| ○事業所名          | 児童発達支援センター くるーる |   |              |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年10月1日       |   | ～ 令和7年12月20日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)          | 6 | (回答者数) 4     |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年12月29日      |   | ～ 令和8年2月26日  |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)          | 8 | (回答者数) 8     |
| ○訪問先施設評価実施期間   | 令和7年12月29日      |   | ～ 令和8年2月26日  |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象数)           | 4 | (回答数) 4      |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月1日        |   |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                     | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                   | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|---|--|
| 1 | 児童発達支援と保育所等訪問を多機能で行っていることにより、園や学校での困りごとを事業所内で練習をするなどの取り組みができる。 | 園や学校での実際の状況を確認し、対象のお子様だけでなくクラス全体の様子等も踏まえながら支援方法を検討している。 | 園や学校でできるようになりたいと思っていること、取り組むことでさらに楽しみや喜びが増えることなどを今後も探っていく。事業所内でできるようになったことを、園や学校でもいかすことができるように支援をつなげていく。 |
| 2 |  |   |  |
| 3 |  |   |  |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                     | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1 | 同じスタッフが訪問へ行くことが多い。                         | スタッフの支援スキルにより、訪問支援ができるスタッフはまだ限定されている。 | どのスタッフも訪問支援を行くことができるように、スキルアップしていくことでさまざまな視点で支援方法を検討することができるようにする。スタッフがスキルアップすることができるように、さらに研修を充実させる。 |
| 2 |  |                                       |   |
| 3 |  |                                       |   |